

# みんなくりポジトリ

国立民族学博物館 学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

歴史の中のストリートとトランスローカリティ：  
歴史と記憶を生きる眼差しから見る現代の場所性：  
歴史の中のストリート概念の変遷：  
近代を相対化する深い場所（垂直性）：  
北京の小さな橋：街角のグローバル・ヒストリー

|       |  |
|-------|--|
| メタデータ | 言語: Japanese<br>出版者: 国立民族学博物館, National Museum of Ethnology<br>公開日: 2010-03-23<br>キーワード:<br>作成者: 妹尾, 達彦<br>メールアドレス:<br>所属: |
| URL   | <a href="https://doi.org/10.15021/00001207">https://doi.org/10.15021/00001207</a>  |

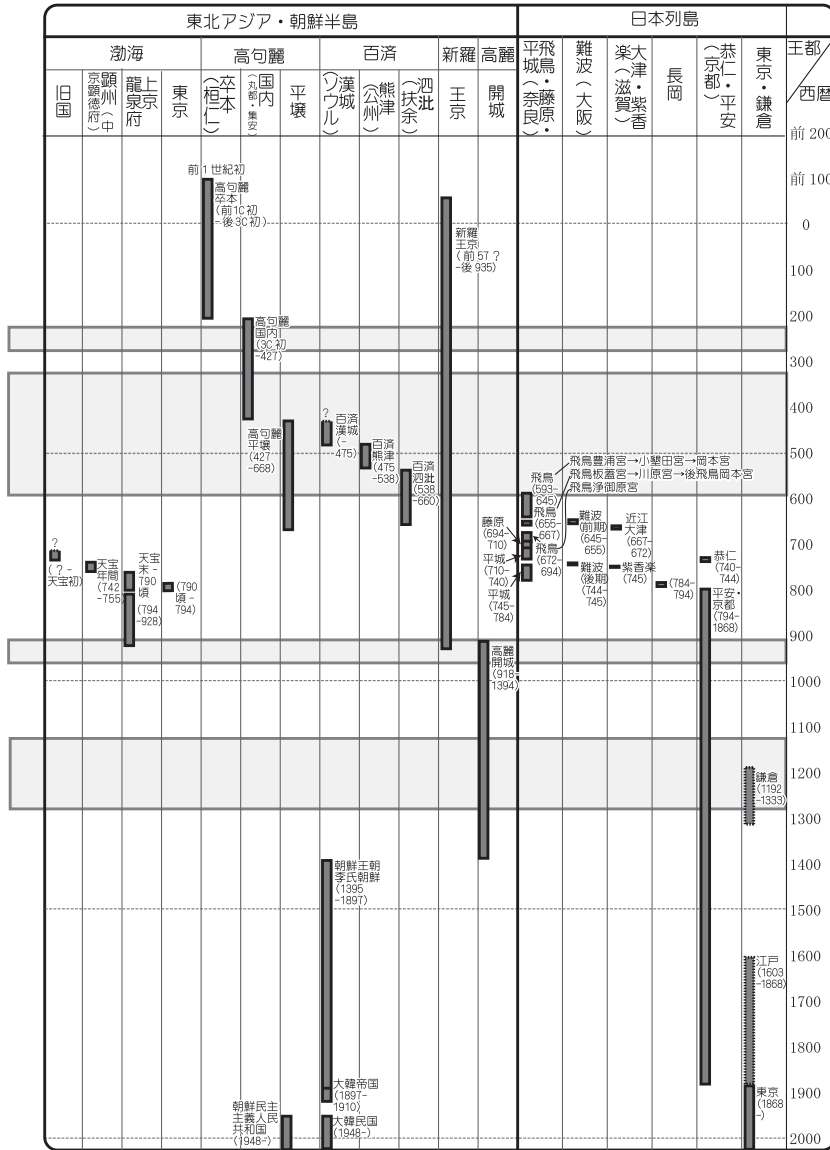


図10 東北アジア・朝鮮半島・日本列島の歴代都城の継承関係 (妹尾 2008)

転換していくことを示している。

図9は、東アジア歴代都城の変遷を一覧したものである。図7を、各都城の奠都年代を明記して、各都城との関連を示すために、さらに詳細にした図である。図9のように、長安と北京は、中国大陸の歴代都城の中で、もっとも長く都城であり続けた都である。

図9では、中国大陸の歴代の都城を、(a) 華北と華南を統一した時期の王朝の都城と、(b) 副都、(c) 分裂期の都城の3つにわけて図化している。(c) 分裂期の都城の時代は、